

Narajoice Special Edition

グローバル女性人材養成プログラム (ニュージーランド)



参加費の一部は
廣岡栄子
国際奨学金
より補助しています



2026/2/21-3/16の24日間、国際戦略センター(奈良女子大学)主催で、2025年度グローバル女性養成プログラム(ニュージーランド)を実施し、奈良女子大学から19名が参加しました。

プログラム期間中、平日はリンカーン大学の English for Academic and Professional Purposes に参加し、土日は休日です。ホストファミリーと過ごしたり観光にでかけたりと自由に過ごしました。また、研修期間中に開催された「Japan Fiesta in Christchurch 2026」に今年度も出展参加しました。今年は日本のお正月、日本の制服、奈良クイズをテーマに3グループに分かれ、学生自身で企画準備した内容で日本を紹介しました。滞在形式はホームステイで、ニュージーランドでの生活を体験することもできました。

この特別号では、参加した学生の感想を紹介します。

Q. 英語の授業を受講した感想を教えてください。

レベル別にクラス分けされており、ちょうどいい難しさの英語を勉強することができたと思います。スピーキングやライティング、リスニング、リーディングなど色々な側面から英語を学べる貴重な機会でした。先生に関しては、人種のバリエーションが豊富で、色々異なる発音を聞くことができたことがとても面白かったです。

自分の考えを英語で話す、書くという場面が多かったことで、英語力以外にも、『自分で考えて言葉にする』という力がつきました。もちろん、英語の授業ということで、速読力や英語でのより自然な言い回し、英語でのレポートの書き方など様々なことを学ぶことができました。聞く、話す、書くを同時に学ぶことができてよかったです。

●日本に興味を持っている人がこんなにたくさんいるのだなと感じました。また、企画の説明を英語でしてみると、よく使うのに意外と知らない表現がたくさんあると思いました。●ブースでの活動でも受付などのボランティア活動でもホームステイや学校の授業とは違った英語表現を求められたためいい経験になった。また、自分たちが外国の文化を知る楽しさだけではなく自分たちの文化について外国の方に知ってもらえる喜びも体験できていい経験になった。●日本の文化が海外の方から愛されていることを知り、単純に嬉しかったです。催しの宣伝のために自ら英語でたくさんの方に声掛けに行ったり、受付で来場者を英語で案内したりする機会があり、今までにはない良い経験になりました。初対面の方に英語で話しかけに行くことに対して、抵抗がなくなったと思います。●様々な人と交流することができました。また、自由時間中にイベント参加者に自分から声をかけ、話が盛り上がったのがとても嬉しかったです。

Q. ホームステイで、どのようなことを学びましたか？

ホストファミリーがとてもやさしく、家もきれいで快適に過ごすことが出来ました。ご飯もおいしくて学校から帰ると「どんな一日だった？」と聞いてくれて会話することが出来ました。ニュージーランドで生活しニュージーランドの文化や生活を知ることが出来ました。果物をそのまま食べたり、バスがよく遅れたりなど様々な経験をする事が出来ました。はじめは驚きましたが、日本との違いを受け入れ適応していくことが出来たと思います。

ホストファミリーとの会話を通じて、ネイティブの人々の自然な英語を知れたことが良かったです。悪かった点は、特にないです。ニュージーランドで生活する中で、ニュージーランドの人々は早寝早起きで、一日の中に家族と過ごす時間が必ずあったのが良いなと感じました。たくさん予定を入れて忙しく活動するのも良いですが、ゆったりとした生活からしか得られない精神的な健康があるのだと学びました。また、意外と自分の英語力でも伝えたいことは伝えられるのだなと思いました。

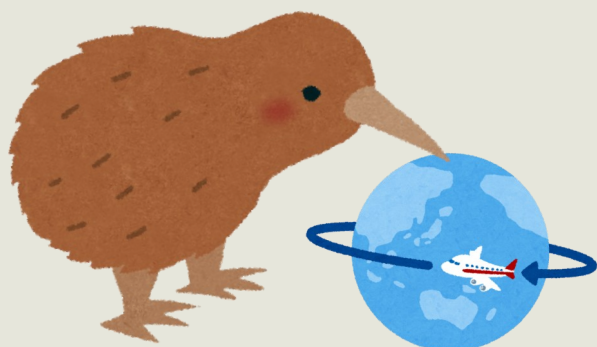
Q. 本プログラムに参加して、あなたが学んだこと、感じたことは何ですか？

ニュージーランドでは日本とは違いゆったりとした生活でまた、個人の自由が日本よりもあるなと感じた。そこにいい面もよくない面もあると思うけどその生活はその生活、やり方として受け入れられるようになったと感じる。また授業では積極性を求められて五十分間集中して授業を受けた。今後は授業で習った英語の学習法をもとにたくさん勉強し次の留学に向けての準備をしたいと感じた。

海外へのハードルが下がった。今までは自分の語学力や国外という壁を感じていたが、実際に行ってみると、できることも多く、言葉の壁も完璧さより伝えようとする気持ちが大事だと感じた。就職先として海外に関する企業は避けてしまっていたが、視野に入れたい。また、海外に積極的に出たい。

とにかく英語で話してみる、話すんだという意志を見せることで、相手も聞こうとしてくれるし、理解してくれようとする。恐れずに挑戦したら、最後は少しだけ、語彙力も、咄嗟に頭で英文を考える力もついたと思います。この経験を活かして、次は一年間ほど留学したいです！

海外に対するイメージが大きく変わった。研修前は、「海外は怖い」というイメージがあったが、人のあたたかさを感じる場面も多くて、海外に対するイメージがすごく良くなった。同時に、日本の良さについて改めて気づくこともできた。自分の英語力に自信をつけることもできた。この経験をもとに、別の国にも行ってみたい。また、英語の勉強も引き続き行い、もっと英語力をあげることができるようになりたい。



奈良国立大学機構 国際戦略センター

NEWSLETTER グローバル女性人材養成プログラム(ニュージーランド)

特別号 2026年4月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3457 Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp